



宇宙を旅した  
「NAOKO☆宇宙アサガオの種」  
日本宇宙少年団白河分団のもとに到着！

▲4粒のアサガオの種

山崎直子宇宙飛行士と一緒に米スペースシャトル「ディスカバリー」に搭乗した約200粒のアサガオの種は、「宇宙アサガオ」の種として全国の日本宇宙少年団のうち、希望した63分団に配布され、白河分団（藤田彌五兵衛分団長）には、121～124のシリアルナンバーが付された4粒が届けられました。もともとこの種は、鹿児島県で栽培され、同少年団が山崎さんに託していたものです。

6月18日に、同分団のメンバーが市に種の受領の報告に訪ずれ、その後市役所玄関で、4つのプランターにそれぞれ植え付けました。

同分団では、「今後、宇宙の放射線や無重力を体験したアサガオの種を、他の品種との交雑を避け、一般の種と比較し、また今年開花する1世代と次年度以降開花する2世代以降の違いを長期的に観察していく。アサガオが開花し、種を収穫した後は、団員や家族、学校の友人、地域の方へ配り、人との絆を深めていきたい。今回の取り組みを、子どもたちが宇宙についての興味を持ち、勉強を始めるきっかけにしたい。」と話しています。

宇宙アサガオのプランターは、市役所玄関に置いてあります。市役所を訪れた際には、宇宙を旅したアサガオの成長をぜひご覧ください。

ちょっと  
いいはなし



▲報告に訪れた日本宇宙少年団  
白河分団のメンバー



▲種を植えている様子



このページは、市民の皆さんに登場していただくページです。登場してくれる方を大募集。皆さんからの情報をお待ちしています。  
♡連絡先 本庁舎秘書広報課  
〒961-8602 白河市八幡小路7-1  
☎01111 内線2373/FAX02577  
Eメール hisho@city.shirakawa.fukushima.jp



町の由来を知って歩きになる！

市中心市街地活性化基本計画事業として設置した、「通り16町」の町名由来表示板を紹介します。

梯町の巻 ②

「白河風土記」（1805年完成）によれば、今は廃寺となった西蓮寺の境内に「薄墨桜」という名木があったため、町の名がついたと伝えられます。

城下の東側の入口といえる町で、鹿島方面からの道と関山方面からの道が町の東端に設置された木戸の手前で合流しています。この合流点が「宗祇戻し」と伝えられるほか、道に迷う人のため、文政5年（1822）には「白河城羅郭岐路碑」が建てられました。

また、町の中央付近に「御旅所」があり、現在に続く鹿島神社祭礼で、神輿を一時とどめる場となっていたほか、東端におかれた木戸の外側には小峰城の瓦を焼く藩窯がありました。

文政6年（1823）に作成された城下の各町の明細帳には、家数が107軒と記されています。



▲桜町絵図 江戸時代後期 個人蔵



◀遺稿集を手渡す川瀬さん

6月18日、夫人の川瀬泰子さんの手により刊行された、故川瀬榮一さん（元市収入役）の遺稿集「歌舞伎と白河」が、市へ寄贈されました。遺稿集は、市立図書館で貸し出していますので、ご覧ください。



◀額縁入り写真を贈る渡邊住職

6月2日、大統寺（渡邊宗徹住職）から、同寺が所有する市指定重要文化財「絹本着色仏涅槃図」の額縁入り写真が寄贈されました。



◀目録を手渡す吉田社長

5月25日、天馬（株）（吉田長幸社長）から、新白河工場の設立25周年を記念して、市へ社有地で「高萩のしだれ桜」がある土地、3,733平方メートルが寄贈されました。



◀キーを手渡す牧野理事長

5月21日、白河信用金庫（牧野富雄理事長）から、市で有効に活用してもらいたいということで、同金庫で使用していた車両、トヨタマークIIブリットワゴンが寄贈されました。

善意の窓